

# 俳人協会三重県支部懇親吟行会

日時 令和七年九月二十七日（土）

会場 鈴鹿市伝統産業会館

今瀬 一博特選

秋濤や誓子は吾の心の帆 山中 悦子

秋の日や筆やはらかき誓子の碑 樋口 精一

手ぶらにて歩く誓子の海素秋 福田 容子

坂口 緑志特選

神島の小さき三角鯨日和 福田 容子

潮騒に誓子の気配ちちろ鳴く 延与 紀舟

石井いさお特選

秋の潮水平線より散光す 城 明子

帆影なき誓子海岸鰯跳ぬる 西岡せつ子

橋本 石火特選

初鵬の相輪に来て猛らざる 坂口 緑志

彫り上げて秋日に翳す鮫小紋 前田 照子

平田 冬か先生 特選

秋濤や誓子は吾の心の帆 山中 悦子

文学碑並ぶ松原鳥渡る 下村 菜々

山中 悦子特選

散りながら花盛りなり萩に風 佐野 弓子

秋深しレンズの中の錐の先 山守 拓治

金津やよい特選

捨て舟の底に蟋蟀誓子浜 松本 愛子

歌ひ継ぐ誓子の園歌草は実 西岡せつ子

福田 容子特選

歌ひ継ぐ誓子の園歌草は実に 西岡せつ子

彫り上げて秋日に翳す鮫小紋 前田 照子

古川 和子特選

秋濤や誓子は吾の心の帆

山中 悦子

小紋彫錐の緊張秋灯下

石井 洋子

三ツ矢龍美特選

渾身の錐彫り無限涼新た

水谷 洋子

赤とんぼ抜けゆく浜の監視台

宮谷ふさ子

森下 充子特選

階段に猫眠らせてヴィラの秋

林 里美

秋の潮水平線より散光す

城 明子

## 高点句

十点句

秋灯火肘が支点の型を彫る

石井いさお

八点句

彫り上げて秋日に翳す鮫小紋

前田 照子

神島の小さき三角鯨日和

福田 容子

剥落の仁王や松は色変へず

小林ふみ子

捨て舟の底に蟋蟀誓子浜

松本 愛子

七点句

秋の日や筆やはらかき誓子の碑

樋口 精一

爽涼のここのこの道誓子来し

水野 悦子

六点句

歌ひ継ぐ誓子の園歌草は実に

西岡せつ子

赤とんぼ抜けゆく浜の監視台

宮谷ふさ子

縞彫のかすかな揺らぎ秋の声

片岡 智子